

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」上島校			
○保護者評価実施期間	令和7年 12月 1日		～	令和7年 12月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21名	(回答者数)	14名
○従業者評価実施期間	令和7年 12月 1日		～	令和7年 12月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数)	7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 1月 12日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	支援プログラムや教具が豊富で柔軟な支援活動を行うことができる。	課題の進捗状況や集中度を見て支援内容を常に見直している。 本物そっくりな食べ物工作を始め、工作のバリエーションがたくさんあり、更にお子様のリクエストに応じて作るものを決めることで意欲向上に繋げている。	希望に応じて園訪問を行っているがまだ認知度が低い。積極的に呼びかけていきたい。 市内の「きらり」で共同の教材研究チーム活動を行っているので、今後も教材研究を続けていきたい。教材開発にも着手したい。
2	小集団活動を通してチーム全体で成長することができる。	大きく1月ごとの目標を決め、スモールステップで目標に向かってみんなで活動しています。 年齢や特性による得意・苦手は様々ですが、職員の補助の度合いを変えることで全体に合わせて参加することができています。	他校舎の小集団活動の様子を聞いたり、見学させてもらったりして活動内容の拡充を図る。
3	お子様が安心感を持って通所を楽しみにしてくれている。	「次に来た時に○○しようね」と約束をすることで、見通しを持たせ、次回来所するのを楽しみにできるようにしている。	お子様に関する気付きを保護者の皆様にお伝えし、保護者の皆様と職員が同じ方向を向いていく。 職員全員が声掛けや対応法を揃え、安定した関わりを持つことで、お子様にとって安心できる場であり続ける。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の他の子どもと関わる機会がない。	利用されているお子様の個人情報外部に漏れてしまうかもしれないという懸念がある。 個別療育が主な事業所なので、地域との関わりに需要があるのか。	地域イベント等を調べて入り口付近に掲示して情報発信していく。 「きらり」の活動において地域との関わりを求めているのかお子様や保護者様にご意見を伺う。
2	兄弟姉妹向けのイベント等、兄弟姉妹への支援がされていない。	イベント開催時は常に大人数の希望があり、兄弟姉妹を呼ぶことで更に人数が増え、安全上のリスクが生じてしまう。 利用されているお子様への目が行き届かなくなり、思いもよらない怪我に繋がる可能性が否定できない。	利用されているお子様の送迎時に一緒に来てくれた兄弟姉妹への声掛けの継続。待っている兄弟姉妹に対してのおもちゃ等の貸し出しを引き続き行う。 保護者様に対し、家庭での兄弟姉妹との関わりの様子を尋ね、アドバイスをしていく。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 こどもサポート教室「きらり」上島校

公表日 2026 年 2 月 14 日

利用児童数 21名

回収数 14名

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	10	4	0	0	もう少し広いとうれしい。 運動するには少し狭そうに見える。	ご意見をいただきましてありがとうございます。 使用していない机を隅に寄せる 等、できる範囲でスペースを作ってい ければと思います。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	14	0	0	0		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思 いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や 情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	10	2	0	2	自分にはバリアフリーに対する知識がな いためわからない。	お子様たちが安全に過ごせる環境づくりに 努めていきたいと思っています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。 また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	14	0	0	0		古い校舎ではありますが、毎朝の掃除を かかさないようにしております。
適 切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援 が受けられていると思いますか。	12	1	0	1		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と 合っていると思いますか。	14	0	0	0		支援プログラムは本年度よりHPにて公表 しております。是非ご覧ください。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分 析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思 いますか。	14	0	0	0		
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提 供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支 援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具 体的な支援内容が設定されていると思いますか。	13	0	0	1		「本人支援」の5領域と「家族支援」、 「移行支援・地域支援」を踏まえた個別 支援計画を作成しております。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	13	1	0	0		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いま すか。	11	1	0	2		
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと 活動する機会がありますか。	5	1	3	5		1時間ごとの個別療育が主なので地域の 園やお子様と交流する機会がなかなか持 てていないのが現状です。 今後、利用者様の希望も含め交流方法を 検討していけたらと思います。
保 護 者	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等につい て丁寧な説明がありましたか。	14	0	0	0		契約時にご説明しております。利用をし ていて不明点が出ましたらいつでもお声 掛けください。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	14	0	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング 等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	10	0	1	3	きらりカフェに参加してみたい。	「きらり」では、年に数回、保護者様を 対象としたきらりカフェを行っておりま す。テーマを決めて子育てや発達特性に ついて考えたり、保護者様同士でお話が できる貴重な機会ですので是非ご参加く ださい。お待ちしております。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況に ついて共通理解ができていると思いますか。	14	0	0	0		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	13	1	0	0	きらりカフェに参加してみたい。	「きらり」では、年に数回、保護者様を 対象としたきらりカフェを行っておりま す。テーマを決めて子育てや発達特性に ついて考えたり、保護者様同士でお話が できる貴重な機会ですので是非ご参加く ださい。お待ちしております。

への説明等	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	14	0	0	0		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	8	2	0	4		「きらり」では、年に数回、保護者様を対象としたきらりカフェを行っております。テーマを決めて子育てや発達特性について考えたり、保護者様同士でお話ができる貴重な機会ですので是非ご参加ください。お待ちしております。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	14	0	0	0		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	14	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	11	0	0	3		イベント案内や配布しているお手紙、空きコマ情報をLINEにてご案内しております。HPにてブログも公開しておりますので是非ご覧ください。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	14	0	0	0		鍵付きの書庫で保管しております。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	14	0	0	0		各種マニュアルを策定するとともに、玄関口にマニュアルや計画をまとめたファイルを設置し、閲覧できるようにしております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	12	0	0	2		毎月、地震や火災、水害等の避難訓練を行っております。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	14	0	0	0		安全計画を策定しております。玄関口にマニュアルや計画をまとめたファイルを設置し、閲覧できるようにしておりますのでご覧ください。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	12	0	0	2	事故等が発生していないのでわからない。	事故等が起こらないことが一番ですが、万が一事業所内で事故や怪我が発生しましたら即座に保護者様に状況説明をさせていただきます。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	14	0	0	0		ありがとうございます。今後もお子様が安心して通える「きらり」であり続けられるよう努力してまいります。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	14	0	0	0		ありがとうございます。引き続きお子様たちが楽しく、前向きに取り組める活動を提供していきたいと思ひます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	14	0	0	0	いつもありがとうございます。	いつもありがとうございます。通所してくれるお子様はもちろん、毎回の送迎をしてくださる保護者様たちに深く感謝申し上げます。今後ともお子様、保護者様に寄り添った支援を心掛けていきたいと思ひますのでよろしくお願いいたします。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
こどもサポート教室「きらり」上島校		2026 年 2 月 14 日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		同時利用児を2名としており、パーティションで空間を区切っている。	机の数が多いため使用していない時は隅に寄せる等してもいいのかもしれない。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		基準を満たした職員配置ができています。	職員の病欠や急な休みがあると他の職員に負担がかかる。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		支援を行う部屋とおもちゃを置く部屋を分けている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎朝の掃除を心掛けている。	建物の老朽化は否めない。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		○	別室がないため、事務室や玄関横のソファを適宜使用している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎年実施し、HPで公表している。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		一日のうち一度は職員全体で話をするようにしている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		年間を通して社内でも各種研修を実施している。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		HPで公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		個別支援計画会議を行い、職員全体の意見を募ったうえで本計画を作成している。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		個別支援計画に沿って支援が行えるように取り組む課題を計画に明記している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		「本人支援」の5領域と「家族支援」、「移行支援・地域支援」を踏まえた個別支援計画を作成している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○			

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		年間を通して季節のイベントを開催している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		朝礼や昼礼、終礼を行い、全体で共有している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		朝礼や昼礼、終礼を行い、全体で共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			支援記録は記入しているが、内容には個人差がある。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児発管と指導員で参加している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		保健師や医療関係者と関わることができる研修に参加している。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		○		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			サポートかけはしシートを作成し、小学校と情報共有を行っている。
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)		○		大学教授に来てもらい事例検討会を行っているが地域のセンターとは連携を取ることができていない。
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○		個人情報保護の観点から行っていない。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		支援中、または送迎時に保護者様とお話しする時間を設けており、共通理解を持つことができている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		地域で行われる家族向けの研修や公聴会の案内を入口に掲示している。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に書類の読み合わせを行いながら補足説明をしている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			

保 護 者 へ の 説 明 等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		個別支援計画の内容を確認し、納得した上で署名していただいている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		「きらりカフェ」を年3回実施し、保護者同士の交流の場としている。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		できるだけ即日、もしくは希望日を聞いて対応している。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		ブログやInstagramで情報発信している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		鍵付きの書庫で保管している。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		個人情報保護の観点から行えていない。
非 常 時 等 の 対 応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各種マニュアルを策定するとともに、玄関口にマニュアルや計画をまとめたファイルを設置し、閲覧できるようにしている。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		各種マニュアルを策定するとともに、玄関口にマニュアルや計画をまとめたファイルを設置し、閲覧できるようにしている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		毎年基本情報シートを記入してもらい確認している。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○		基本的に飲食の提供は行っていない。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		各種マニュアルを策定するとともに、玄関口にマニュアルや計画をまとめたファイルを設置し、閲覧できるようにしている。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		事業所内で回覧後、上長に報告書を送り再発防止に努めている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		定期的に委員会活動や虐待防止チェックリストで自己点検している。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		個別支援計画に記載しているが、今のところ身体拘束を実施したことはない。	